



# 自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

## 3密対策の自衛官募集個別説明会

自衛隊群馬地方協力本部 高崎地域事務所（広報官・2等陸曹 黒内裕次）は、6月12日（金）ハローワーク藤岡において、コロナ禍の影響により自衛官募集説明会が思う様に実現しない中、ハローワーク藤岡所長の御厚意により自衛官募集説明会を実施した。

特に、説明会に来て頂いた方々への安全面を重視し、マスクの着用、アルコール消毒液の設置、検温以外にも、広報官手作りの飛散防止パネルを設置するなど、対策を万全に実施して募集パンフレット、自衛隊情報誌及び自衛官採用についての資料等を活用した、分かり易い募集説明に努めた。

説明会では今年息子さんを受験を考えているという母親も訪れ、体力面や生活面の不安や疑問に対し、広報官が丁寧に回答をした。

母親は、「説明を聞くまでは心配でしたが、息子が自衛隊に受かった際には、一人前の自衛官になって一生懸命頑張って欲しい。」と安心した様子で帰られた。

今後も高崎所は自衛隊、自衛官の理解を深める説明会を実施し、募集目標の達成に尽力していく。



## 丸茂空幕長の母校から航空学生誕生

（自衛隊群馬地方協力本部 高崎地域事務所広報官・1等陸曹 田畑 亜沙美）

6月9日、航空自衛隊航空学生として入校中である齋藤潤2士（群馬県高崎市出身）は帰郷広報のため高崎高校へ訪問した。高崎高校は群馬県で防衛大学校、防衛医科大学校、航空学生を多く輩出する高校で、航空幕僚長の丸茂空将の母校でもある。

彼が航空学生を目指したきっかけは自衛官の父とともに高崎高校卒業生である丸茂空幕長の影響が大きい。空幕長の記事が母校の機関紙等に掲載され自衛隊を身近に感じたという。また平成30年夏に桐生市の桐生八木節まつりでブルーインパルスが展示飛行をしたことが一層航空学生を受験し操縦士になる意思を高めることとなった。

航空学生課程に今年4月に入校し3か月、操縦士になるための基礎的な訓練に汗を流している彼は、日に焼けて凛々しい姿に成長していた。

学校では教頭先生をはじめ、恩師である先生方が出迎えてくれた。彼は自衛隊での訓練や生活環境に関する近況報告をするともに、母校から自身に続く後輩を輩出したいと広報した。

彼の夢は人として尊敬される操縦士になり、いつかブルーインパルスに搭乗し高崎市上空に、サクラ、（六輪を描く展示飛行科目）を描きたいと嬉しそうに語った。

まずは基礎課程の二年間を一步步前進し、夢である操縦士になれるよう群馬から折っている。



航空学生で入校した齋藤潤君が学校訪問をし、教頭先生及び進路指導副主事対し航空学生の説明等をおこないました！

記念写真右（左から進路指導副主事、教科の担任、教頭先生、齋藤学生）